

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	① ②	① 安全な道路空間の整備 ② 都市計画道路の整備

事業名	泉大津駅西地区周辺整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまちをめざし、駅周辺整備事業の推進として泉大津駅西地区の活性化を促し、泉大津駅前通り線周辺の景観向上、歩行者の安全性の向上を図る。
(事業概要等)
都市計画道路泉大津駅前通り線の整備、およびその周辺道路である泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線、小松原通線における歩行者通行空間の整備を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	232,706	107,892	127,241	462,166	
うち市負担分(千円)	144,133	55,412	108,167	272,698	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
泉大津駅前通り線事業用地の取得率(面積割合)	%	28	35	37	68
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
都市計画道路泉大津駅前通り線は、平成29年度に事業計画認可を取得し、令和4年度は、昨年度に引き続き物件調査を行って補償算定を実施するとともに、事業用地を取得した。 なお、泉大津駅臨海連絡線と松之浜大津川線、菅原小松町線の歩行者通行空間は、令和元年度に整備が完了している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項無し
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	国庫補助金および事業費の確保
-----------------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 都市計画道路泉大津駅前通り線は、事業計画認可期間である令和6年度末までの完成を目指して事業を進める必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	特記事項無し	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推進

事業名	地域計画事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。
(事業概要等)
都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。 都市計画に関する方針の策定。 都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、地形図及び都市計画図の作成。 各種計画の策定に向けた検討

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,857	14,477	17,948	18,413	
うち市負担分(千円)	1,857	11,277	14,398	18,190	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
用途地域の変更	地区	-	-	-	-
各種計画の策定	件	-	1	2	1
地形図の修正	地区	1	1	1	1
(指標を設定できない理由)					
都市計画に係る地域地区の指定や変更及び計画策定に関する事業であるため、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
現在の地形図は、現状と異なる箇所があるため、現状の土地利用の状況や都市施設の整備状況に合わせた修正を加え、更新を行った。 また、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の時点修正を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	景観形成誘導事業(景観市民会議「景観人の集い」)	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民一人ひとりが景観を育てる主人公となるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。
(事業概要等)
景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4	0	68	68	
うち市負担分(千円)	4	0	68	68	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
歴史こぼれ話の開催(景観人の集い活動実績)	回	0	3	3	3
絵のあるまちづくり(景観人の集い活動実績)	箇所	0	1	2	0
マップの作成・パネル展	回	1	0	0	1
(指標を設定できない理由)					
市民主体の景観に対する取り組みの事務局支援であり、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
令和4年度は、地域の子どもたちと一緒に描いた壁画の落書き消しを行うことにより、まちの景観を守り、育む活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか対策を万全に行い、景観人の集いの主催により歴史こぼれ話を開催した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が必要となる。そのために、今後も続けていく必要がある。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	住居表示整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指すこと。
(事業概要等)
住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	217	250	251	251	
うち市負担分(千円)	217	250	251	251	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
住居表示プレートの発行件数	件	299	281	249	-
(指標を設定できない理由)					
新築届けがあった場合に住居表示を付番する事業であるため、目標値を設定することは困難である。					
(成果の概要)					
新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	新築等による住居番号の届出の際に、窓口での待ち時間を短くするため、また、単純に付番しにくい場合等があるため、あらかじめ、開発指導係に建築確認や開発の届出のあったものを確認し、付番の予定やプレートの発注を行っている。また、付番状況を市民課などでも随時、確認できるように共有フォルダへデータ化し保存している。
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり運営事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津の風土と文化を活かしたうるおいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。
(事業概要等)
市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを推進するための環境を整える。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	253	322	322	443	
うち市負担分(千円)	69	56	47	122	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
まちづくり会議開催回数	回	4	5	4	-
(指標を設定できない理由)					
市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
魅力あるまちづくり事業を策定する上で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が減少した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も定期的にまちづくり会議を開催していくため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり事務所維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市内南海本線三駅周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となってまちづくりの実現に向け議論する場として、まちづくり会議を支援するためのまちづくり事務所を維持管理する。
(事業概要等)	まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。北助松駅周辺地区及び泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅周辺は地元自治会に依頼、泉大津駅西地区は、市で行っている。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	590	355	510	536	
うち市負担分(千円)	590	355	510	536	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事務所使用人数	人	2,516	2,185	4,193	4,500
使用回数	回	131	155	246	300
(指標を設定できない理由)					
市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
まちづくり事務所は、市内南海本線三駅駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進を図っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症が収束した影響により、従前に比べ使用実績が増加した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	公共施設適正配置基本計画に基づき、松之浜駅前周辺地区まちづくり事務所の地域移管を令和3年度に実施
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。また、地域移管に向けた検討・調整が必要。
改革・改善 策等の具体的 内容	公共施設適正配置基本計画に基づく地域移管の検討	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	森林環境体験学習推進事業(都市づくり政策課)	担当課名	都市づくり政策課
-----	------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
小学生を対象に間伐材を用いたベンチづくりを行い、公園に設置し、森林環境保全及び環境意識の向上と、公園への愛着を抱いてもらうことを目的とする。
(事業概要等)
間伐材を用いて、公園のベンチを作成することにより、森林環境保全に加え木材の再利用による環境意識の向上を図りつつ、公園への愛着を抱いてもらう。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	213	252	247	252	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
体験学習参加者数	人	11	0	9	20
ベンチ製作数	基	10	0	10	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業を通じ、参加者の環境意識の向上を図り、参加者の校区にある公園にベンチを設置することで公園への愛着を持っていただくことができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	野外での実施は雨天時の対応が困難であることから、雨の心配がないモントパークにて実施した。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	ベンチづくり単独でのイベント開催は集客力に乏しく、参加者を集めることに苦慮した。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 森林環境保全及び環境意識の向上と公園への愛着を抱いてもらうため、事業を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	他の部局のイベントと合同で実施することで参加者の増加を見込む。また、参加されていない方々がベンチづくり体験を見ることで興味を持っていただき、森林環境保全や環境意識の向上等、イベントの趣旨について広く周知を図る機会をつくる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	緑化推進記念樹等助成事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子どもの誕生や住居の新築又は購入などの人生の節目となる記念日を祝い、記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成することにより、みどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子どもの誕生や住居の新築又は購入の記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	22	84	94	1,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
助成件数	件	11	42	47	500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
助成することにより、樹木の購入を後押しし、みどりに対しての愛着の向上と緑化の推進を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	より多くの人にみどりに対する愛着を持っていただく機会を増やすため、助成の対象に住居の新築や購入を加え、制度の見直しを行った。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	出生件数から比較すると今年度においても助成の件数が少ないため引き続き制度の認知度の向上を行っていく必要がある。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) みどりに対してより多くの人に愛着を持ってもらい、緑化の推進を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	より多くの人にこの事業を知ってもらうため、窓口でのチラシ案内に加え、広報紙やSNSにより制度の周知の機会を増やし、改善を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	剪定枝活用事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ゴミ処分量の減少と資源の再利用を図り環境保全に努める。
(事業概要等)	街路樹や公園等から発生した剪定枝等をリサイクルしたチップを、植樹帯等へ敷設し、雑草の抑制を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,000	1,500	2,000	0	令和5年4月1日 付で事業廃止
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
マルチング材敷設面積	m ²	504	396	218	—
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
剪定枝を再利用したマルチング材を活用することによるリサイクル推進、及び市道雑草抑制による市域美化に努めることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	リサイクルしたマルチング材を購入し、植樹帯に敷設していたが、本市域でのゴミの減量に繋がらないことから令和5年度の地域環境基金の対象事業から外れることになった。また、除草作業時にマルチング材の飛散があり、作業効率が悪化する。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) マルチング材の効果を検証したところ、雑草の成長抑制に効果が見られたが、剪定作業時においてマルチング材の飛び散り等の支障が見受けられたため廃止した。
改革・改善策等の具体的な内容	ゴミの焼却量の減少を図るため、令和元年度まで市内の公園・街路樹等から発生した剪定ゴミをリサイクルしてきたが、リサイクル施設が遠いことから剪定の作業時間を圧迫したため、令和2年度からは購入した再生マルチング材を植樹帯に敷設する内容に変更した。しかし、本市域でのゴミの減量に繋がらないことから地域環境基金の対象から外れることになり、また、刈払い機での除草作業においてマルチング材の飛散があり、作業効率が悪化することから事業を廃止した。今後は雑草成長抑制剤の散布により、除草作業の効率化を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	小松町4号線道路改良事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまちをめざし、駅周辺整備として、市民会館跡地周辺の利便性向上と活性化を促し、防潮堤改良により、維持管理性能の向上を図る。
(事業概要等)
府道大阪臨海線沿いには、津波および高潮対策の防潮堤があり、小松町4号線と臨海線の接続部には、手動式鉄扉がある。台風時には、進路予測に基づき、警察の交通規制と連携を図りながら、市職員の操作により閉鎖している。しかし、地震による津波の際には、鉄扉閉鎖の対応が困難になることが想定されるため、小松町4号線沿いを擁壁と盛土構造とすることで、津波の際に、人的対応が不要となる構造とするものである。この改良と併せて、泉大津駅西地区の交通利便性の向上を図るため、一方通行から対面通行へ変更する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	26,321	40,644	89,590	58,427	
うち市負担分(千円)	15,615	21,185	49,999	38,785	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
道路の整備率	%	6	15	35	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小松町4号線等の道路整備工事の一部を実施した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項無し
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項無し
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和4年から令和5年への繰越事業のため、引き続き工事を進める必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項無し

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	プール施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市営プールの施設改修・補修等を行い、利用者にとって安全な状態での開場を目的とする。
(事業概要等)
プール施設の老朽化設備の更新と危険箇所等の補修を実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,793	6,002	3,121	78,244	
うち市負担分(千円)	1,793	802	0	2,232	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
整備不良による休業日数	日	0	13	6	0
整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
施設の危険箇所等を補修することで、施設の整備不良が原因となる怪我や事故については未然に防ぐことができた。しかし、助松公園プールにおいて老朽化したろ過機が故障したことにより、2つあるプールのうち大プールのみ一部の期間休業を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	指定管理者との事前協議により、要補修箇所の確認や改善要望等を共有し、対応することで老朽化した施設の維持管理に努め、利用者の安全を確保する体制を構築した。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	施設の老朽化が顕著であり、プールの安定的な運営のためには、施設の老朽化対策や、施設内配管の更新、及びろ過機等の機械類の大規模な改修が必要な状況である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 施設等の老朽化が顕著であり、大規模な改修が必要な状況であるため、計画的に改修を行い、利用者の安全と安定的な施設の運営を図る。
改革・改善策等の具体的内容	令和4年度に故障した助松公園において、大プールのろ過機の更新や現在の施設基準に適合した屋外トイレ棟の改修等について順次着手する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	公園維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、適正な維持管理に努めることを目的とする。
(事業概要等)
市管理公園及び広場の清掃、遊具点検、トイレ清掃等を行うとともに、施設の修繕等を実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	35,352	45,438	40,016	125,376	
うち市負担分(千円)	35,113	19,221	18,701	120,664	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
専門業者による遊具点検	回	2	1	1	1
施設の整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
専門業者による遊具点検並び施設の修繕等を適切に実施することにより重大な事故を未然に防ぐことができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	公園清掃に係るゴミ袋の調達等事務を包括管理委託業務に組み込むことで事務作業の減を図ることができた。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより進めていく必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 公園の適正な維持管理を行うため、今後も清掃や見回り等の日常的な作業を実施していくとともに、遊具等の公園施設の点検及び修繕を実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	包括管理制度の長期継続契約を進めることにより、年ごとに行っている公募事務を削減するとともに、包括できる業務を増やし、より効率的に公園の維持管理を行うことができる体制を構築する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の更新及び公園の再整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる地域の特色を活かした公園づくりを行う。
(事業概要等)
平成27年度に策定を行った公園長寿命化計画に基づく公園施設の更新を行うとともに、令和元年度に策定を行った公園整備マスタープランにより、地域のニーズにあう公園機能の適切な配置を図ることで、安心・安全で魅力的な公園づくりに努める。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	732,160	918,415	261,824	2,313,677	
うち市負担分(千円)	114,647	484,459	59,967	1,558	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
公園の改良、施設等整備箇所数	箇所	5	2	3	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
快適に利用できる公園づくりのために、三十合池公園等において計画的な公園施設の更新及び公園の再整備等を行い安心・安全な公園づくりを行うことが出来た。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	事業をよりいっそう進めていくために、社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集集中支援事業費補助金の活用を行い、また今後も積極的に交付金等を活用し、事業を進めていく。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、年次的な改修や更新、再整備が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	2	緑地の確保と親水空間の整備

事業名	みどり維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、適正なみどりの維持管理を目的とする。
(事業概要等)
公園、施設及び市道植樹帯の樹木管理、除草等の維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	60,593	59,645	68,975	90,468	
うち市負担分(千円)	60,593	53,106	47,294	87,194	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
高木整備本数(剪定等)	本	973	1,077	1,107	1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
枯木等倒木の危険性のある樹木の伐採や、電線を破断させる可能性の高い樹木等の整備(剪定等)を実施し、市内公園、施設及び市道植樹帯の樹木の維持管理を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	包括管理業務委託に係る市、受託者、現場作業員間でのスケジュール管理やその他連絡事項等の情報共有について、インターネット上での共用システムを用いて効率的な事務運用を図った。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	除草や剪定が必要となる時期が、どの箇所においても同時期となることから、作業が集中し、要望等の対応に追い付かない状況となっている。 また、除草道具の運搬作業や高木剪定等を直営や別発注で行っていることから職員の事務作業の量については未だ課題が残っている。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 良好な景観を維持し、みどりあふれるまちづくりのため、引き続き公園、施設及び市道植樹帯の適正な維持管理が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	除草作業が追い付かない点に関して、シルバー人材センターだけでなく、時間や曜日の制限が少ない作業体制の構築を図り、みどりの適正な維持管理を目指す。 包括管理制度の長期継続契約を進めることにより、年ごとに行っている公募事務を削減するとともに、包括できる業務を増やし、より効率的にみどりの維持管理を行うことができる体制を構築する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	3	市民による緑化推進活動の促進

事業名	80周年記念植樹事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちを目指し、記念となる植樹を行うことで、80周年を迎える故郷泉大津市とみどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図る。
(事業概要等)
市制80周年にちなみ、市内「8」小学校区を対象に、市内の公園等において市民参加による泉大津市市制80周年記念植樹を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			2,013		
うち市負担分(千円)			0		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
記念植樹数	本			8	
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
区域の代表的な公園に記念となる樹木を植樹をすることで、公園や樹木に愛着を持っていただくことができた。また、記念植樹イベントを通じて、日頃異なる場所で緑化活動している団体の方々が参加され交流があったことにより、みどり溢れるまちづくりを目的とする団体の繋がりを強めることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	野外イベントであることや参加対象となる団体が多いことから、開催日や雨天時の日程調整が容易でなかった。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 市制施行の周年記念事業であるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	3	市民による緑化推進活動の促進

事業名	緑化推進事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、泉大津市緑の基本計画に基づき、緑あふれる潤いのあるまちづくりの推進にむけて、緑化の推進を目的とする。
(事業概要等)
地域の団体が自主的に実施する緑化等の活動を支援するとともに、生徒・児童等を対象とした絵画コンクール等の普及啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,829	5,210	4,580	5,408	
うち市負担分(千円)	3,829	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
緑と花の写生コンクール作品数	点	1,744			
みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクール	点		1,879	1,805	1,900
緑化ボランティア団体	団体	20	22	25	27
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑化ボランティア団体で公園や植樹帯等の緑化・美化活動が行っていただき、公園等利用者にやすらぎや癒しの空間を提供することができた。 また、毎年実施しているみどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールへは1,805点の応募があり、多くの子どもに対して緑に対して愛着を持ってもらう機会を提供することができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	松之浜グリーンフェスにて、地元の造園組合に協賛いただいたことで緑化の推進を図ることができた。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	緑化ボランティア団体の活動により、公園の管理が行き届き、身近な方々が利用しやすい公園になっていることから参加団体を増やすことが望ましい。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進のため、引き続き、緑化ボランティア団体への支援と写生コンクールを実施し、多くの人に身近なみどりに触れる機会を創出し、みどりの充実を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールの募集テーマが多様な「みどり」に関するものであるが、「まちづくり」に関する作品もテーマに加え、より広い範囲で「みどり」や「まちづくり」への関心、愛着を育てる機会とする。